

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ベルランド総合病院	階数	地上10階地下2階
建設地	大阪府堺市中区東山500番地の3他	構造	RC造
用途地域	第2 中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	1,800 人
気候区分		年間使用時間	3,500 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年5月24日
敷地面積	29,583 m <sup>2</sup>	作成者	住田 樹紀
建築面積	6,060 m <sup>2</sup>	確認日	2014年5月26日
延床面積	42,915 m <sup>2</sup>	確認者	林 孝司(01250-10)



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 67%

③上記+②以外の 67%

④上記+ 67%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 4.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.8

**LR のスコア = 4.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	敷地南側のベルの森を極力生かした計画としている。また敷地周囲及び敷地内を緑化することにより街並みへの景観形成を行っている。	<b>その他</b> ・工事期間中の廃棄物の削減
<b>Q1 室内環境</b>	化学汚染物質が発生しないように内装材にF☆☆☆☆等級の建材を採用した。また十分な換気を行い、室内環境を常に良好に保てるように配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 景観への配慮として、高層部をセットバックさせることで近隣への圧迫感を軽減し、敷地周囲に緑地を配置することで街並みへの景観形成を行った。
<b>LR1 エネルギー</b>	自然光をできるだけ取り入れるため、廊下の端部を開口部とし、トップライトやハザードライトも計画している。また空調へのクールチューブを採用して省エネルギー化を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内に適切な駐車場及び駐輪場を確保し、周辺道路に渋滞を発生しないようにしている。
<b>Q2 サービス性能</b>	病室の面積は8m <sup>2</sup> /床以上を確保。天井高さも2.6mとしている。耐用性としては付加制震構造を採用し、耐震グレードを1.25+αとしている。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	躯体の錆止や接着剤、シーリング材で有害物質を含まない材料を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



1. 建物概要	建物名称	社会医療法人生長会ベルランド総合病院増築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市中区東山500番地の3他	3.3	S
	主用途/延床面積	病院 / 42,915.47 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	5	
安全快適な暮らし	4	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	4.0	4
		住居・宿泊部分	4.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.5	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		5.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		5.0	5
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		4.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		4.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		5.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項

## 特に配慮した事項

敷地南側の保存緑地「ベルの森」の緑とつながる配置計画とし、緑とふれ合い患者の自然治癒力を引き出す環境づくりを行った。自然通風、採光といった自然エネルギーを活用し環境負荷の低減を図った。